

市民に親しまれる博物館をめざして

このたび、市民に親しまれる郷土学習施設の建設を目指して、仮称都留市郷土資料館構想検討委員会が発足しました。

施設は、都留市の中心街である上谷二丁目地内の新町用地に建設が予定され、検討委員会では、これから一年をかけて、施設の展示内容や運営について検討いたします。特に、展示内容については、古くから城下町として、また、郡内の政治、経済、文化の中心地として発展してきた本市の歴史的特色を踏まえて、次の三つのテーマを設けて、具体的に検討を進める予定です。

市民の皆さんのご意見をお寄せください。

[テーマ1] 八朔祭の賑わいと歴史

本市は、近世後期以降甲斐綱の主要生産地として、江戸との商業取引も盛んで、郡内の政治、経済、文化の中心として繁栄してきました。本市を代表する八朔祭には、谷村藩主秋元氏より川越に転封の際に行列道具一式を置き土産として贈られたことを由緒とされる大行列の巡行や、葛飾北斎や藤原行列の巡行や、葛飾北斎や藤原

栄之など江戸を代表する浮世絵師が下絵を描いた飾幕で豪華に彩られた屋台が繰り出されました。これらの中、特に、八朔祭屋台と飾幕は、近世後期の谷村の繁栄と江戸との交流を物語るものとして、本市を代表する貴重な文化遺産であります。

これらは、県内外にも誇れるものであり、八朔祭の歴史と共に、本館の特色となるものと思われます。

[テーマ2] 城下町都留の歴史

戦国期には、武田信玄が甲斐国の戦国領主として全国的に名を馳せていましたが、郡内一円は小山田氏が領有し、半ば独立した治世を行っていました。小山田氏は、中津森に館を構えていましたが、天文元年中津森の館が焼けると、谷村に館を築き、一族郎党を引き連れ谷村に移ったとされ、これより谷村が郡内の政治、経済、文化の中心地としての歩みが始まりました。小山田氏以降、郡内領主は、めまぐるしく移り替わり、寛永十一年秋元氏が上州総社（現群馬県前橋市）より谷村に転封し、谷村

老高山伝右衛門繁文を頼って、約半年間逗留するなど、郡内の中心地として特色ある歴史を有します。

[テーマ3] 都留市の歩み

市史編纂事業の成果に基づき、先史時代から今日までの都留市の歩みです。特に、繩文時代をはじめとする考古資料や、近世から近代に至る甲斐綱資料は、当地域の理解には欠かせないものと思われます。

本年度より、仮称都留市郷土資料館の収蔵展示資料の調査を実施致しておりますので、ご所蔵の資料を資料館に寄贈、または、寄託いただけの方は、お問い合わせください。

リニア祭

9月9日(土)

アピオ都留

午前10時～午後5時30分

リニア実験線の開始も、もう間近か。今後の地域づくりにはリニアが大きくかかわり、様々な面で、私たちの生活にリニアの存在が影響してくるでしょう。今、リニアをもっと良く知り、地域にどう活かすのかを考えるきっかけにしたいと思います。

リニア展・リニアに関するものをいっぱい展示
リニア絵画展 リニアが走るみんなのまち
経済講談 今昔街道物語 講談師 神田松鯉氏
パネルディスカッション

リニア街道『お国自慢にかける夢』
ふるさと探検隊 リニア施設バスツアー
空から見ようリニア実験線
抽選でヘリコプター搭乗を体験！

アトラクション 都留二中吹奏楽部 50名のビッグバンドほか
神田聖子 オン・ステージ
超力戦隊 オーレンジャーショー
特産品等即売会観光PR
RV車展示(県内10社協賛による)

来場者の中から抽選でグアム島旅行が当る！

主催/(社)都留青年会議所・都留市商工会青年部

「旧鈴木忠兵衛家資料展」

都留市商家資料館

社会教育課 文化振興係
8416-43-4141

平成八年度養成部生募集 保護指導職員養成所・ 国立秩父学園附属

鈴木忠兵衛家は、現在あります
が、江戸時代より新町の国道沿
りに屋敷を構え、上谷村の名主を

勤めたことのある家で、明治期に

は、薬屋を営む他

郵便局を開業

していました時期もあります。

この鈴木家の旧蔵資料が、市に

一括贈られ、資料調査を進めて

まいりましたが、その中から、主

なものを展示する「旧鈴木忠兵衛

家資料展」を開催します。

家族そろって、ご来館ください。

（修了見込の人）・保母資

格を持っている人（持つ見

込のある人）

（修了見込の人）・保母資</